

2020年度

なごや環境大学 活動報告書

2020.4～2021.3



目次

はじめに.....	P1
学長挨拶.....	P2
なごや環境大学って何？.....	P4
開学以降の講座等実績の推移と 2021 年度への展望	P6
2020 年度の振り返りと次年度への展望～アンケート調査結果から～.....	P8
共育講座・共育ゼミナール.....	P11
2020 年度実行委員会主催事業・イベント出展・連携講座の一覧.....	P12
2020 年度共育講座一覧（前期）	P14
2020 年度共育講座一覧（後期）	P16
持続可能な社会づくり～SDGs の達成を目指して～	P18
2020 年度全体総括、企画チーム報告.....	P22
人の環・広報チーム報告、SDGs 未来創造クラブ報告.....	P23
ユースクラブ報告、森林プロジェクト報告.....	P24
なごや環境大学の歩み.....	P25
なごや環境大学運営協力者一覧.....	P28
2020 年度「なごや環境大学」実行委員会.....	P29

なごや環境大学は、パートナーシップを軸に SDGs の達成を目指します。



SDGs とは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称です。



はじめに



なごや環境大学は、分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民が「共に育つ（共育）」ことを目的とし、2005年に開学しました。現在では、持続可能な社会の担い手づくりの先進的事例として、広くその名を知られるようになりました。なごや環境大学の取り組みが全国的に評価されていることをうれしく思います。

これもひとえに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様や市民の皆様のおかげであり、心より感謝します。

なごや環境大学では、国内外で幅広くご活躍されている造園家・ランドスケープアーキテクトの涌井史郎学長のもとで、様々な事業を企画・展開してまいりました。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、オンライン開催を取り入れたことで、潮流に沿った環境テーマを取り上げた講座を企画することができました。特に、主催事業として実施した全10回のSDGsオンラインセミナーは、全国から申し込みがあり、多くの人々に環境情報を発信し、環境に対する興味や関心を高めることができました。

名古屋市では、「なごや環境学習プラン」を策定し、持続可能な社会の実現に向けた人づくり・人の輪づくりを環境面から推進していくための取り組みを進めています。このプランの中では、「分野や主体、世代を超えた学び合い」が重要なキーワードとして挙げられています。

分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民として「共に育つ（共育）」ことを目的とするなごや環境大学の果たすべき役割は益々高まっています。持続可能な社会の担い手づくりのためにも、今後とも様々な取り組みを進めてまいります。

今後とも、なごや環境大学を支えていただいている実行委員をはじめとする皆様の、ご支援とご協力をお願いします。

「なごや環境大学」実行委員会 名誉委員長
名古屋市長 河村 たかし

学長メッセージ

「なごや環境大学」学長の涌井史郎です。

2020 年はまさに COVID-19 との戦いに明け暮れた一年でした。その戦いは今でも続いています。しかしやや歴史を俯瞰的に見れば、世界史や日本史の中で大きく時代が転換したきっかけに必ず感染症の大流行があったことを見逃せません。

奈良の大仏建立の動機や、14 世紀のルネッサンスなどを見てもそうした事実を突きつけられるのです。時代時代に人々が自然から受ける数多くの恵沢を忘れ、人間が如何にも主人公のように振舞った反動がパンデミックを招来してきたと言っても過言ではないでしょう。

ルネッサンスはモンゴル軍の西進に由来し、教会支配に沈んでいた欧州にペストの流行をもたらしました。と同時に人々は改めて古代ギリシャの哲人たちの教訓オイコスロゴスとオイコスノモスの共存という真理に立ち返ったのです。オイコスとは家庭或いは地域や都市、そして国を意味する共同体の事を言う古代ギリシャ語です。ノモスとはその秩序、ロゴスとはその真理、つまり自然の叡智を指し示す言葉です。

今という時代。改めて我々は自然界からの警告をパンデミックという形で受けています。我々の子孫がこの地球の生命圏の中で生きて、自己実現を追い求めるための基盤は、生命圏が 38 億年をかけてきたエネルギーと物質を生物の多様性が、生産者、消費者、分解者として自律循環的システムを形作った生態系を健全に維持する事です。

2050 年を目標年とする愛知目標「自然と共生する世界を」を議決した COP10。その開催年 2010 年末の国連総会で議定された「生物多様性の 10 年」の最終年が 2020 年でありました。



自然と共生するための行動変容と持続的未來のために社会的大変容を SDGs などの個別目標に従い世界のルールとし、これまで積み上げてきた生物多様性の主流化の成果を活かしながらどのように自然と共生する世界を構築しようとするのが、改めて問われていると申せましょう。

そのタイミングに図らずも COVID-19 という強烈な警告を受けた我々は、全ての人々がマスクをする、リモートワークは当たり前となるといった行動変容をものすごい速さで実現させています。これこそやればできる証とみる事も出来ましょう。

我々は改めて身勝手に他の生物の存在を無視するかのようなライフスタイルを捨て、エゴではなく全ての生物が果たす役割が滞りなく果たせることが健全な生態系の保続策であるという行動原則を共有する。つまりエゴロジーから改めてエコロジーに立ち返る方向に向かいましょう。

『環境の取り組みは名古屋に学べ』と言われるように尽力を重ねて参りますので、多くの方々が引き続き「なごや環境大学」にご参加、ご支援、ご協力を賜りますようこの機会に心よりお願いを致します。

「なごや環境大学」学長
涌井 史郎

なごや環境大学って何？

市民 / 市民団体(NPO/NGO)・企業・教育機関・行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

目的

「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的としています。

入学資格

〈エコ・ゴコロ〉だけです。

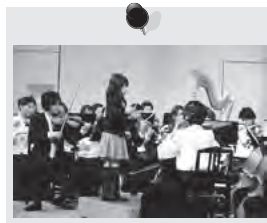
環境に関心のある、すべての人を歓迎します。子どもから大人まで、「環境問題はむずかしそうだ」という人も、「活動の輪を広げたい」という人も参加できます。

内容

協働による講座・ゼミナールなどの運営

学ぶ！講座に参加する

楽しみながら学べる講座を多数ご用意しています。



動かす！ゼミナールで活動する

「なごやをもっとエコに！」と、さまざまな団体が活躍中！仲間と一緒に、新しいことにチャレンジしてみませんか？



発信する！企画・運営する

あなたも、何か企画してみませんか？毎年6月と11月に講座・ゼミナール（ゼミナールは11月のみ）の募集を行っています。初心者の方も、歓迎です。

※これまでの募集要項は常時ウェブサイトでご覧いただけます。

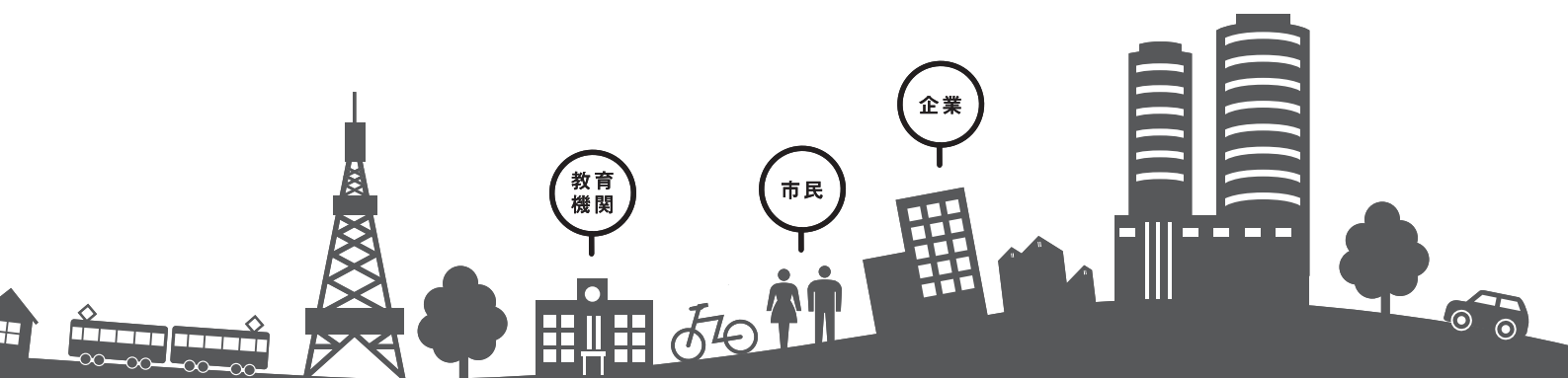


つながるエコ ひろがるハッピー！

まちじゅうがキャンパス

里山や水辺…教室や工場も…どこでも実施！

詳しくはHPをチェック！ <https://www.n-kd.jp/>



ネットワークづくり

ひととひと、団体と企業、行政や教育機関などそれぞれの得意分野や持ち味を活かし、大きな成功へと導く関係づくりを行います。

また、市民参画のプロジェクトによって、ひととひとをつなぎ、ムーブメントをつくりだします。異なる分野のひとの出会いの場を提供し、ひとの輪を広げます。

情報発信

多種多様な講座を紹介したガイドブックを年2回発行しています。

また、地球環境から身近な環境まで分かりやすくまとめた「なごや環境ハンドブック」を発行しています。

たくさんのひとが利用するソーシャルメディアやホームページ、大勢のひとが集うイベントなどを通じて誰もが参加、参画できる情報を発信しています。



サポート／コーディネート

ネットワークを活かし、企業や行政、教育機関などのESD^{※1}活動（学習プログラム・研修プログラム・CSR^{※2}プログラム）の支援、関連団体などとの橋渡しを行います。

※1 ESD=Education for Sustainable Development の略 持続可能な社会を支える担い手づくり

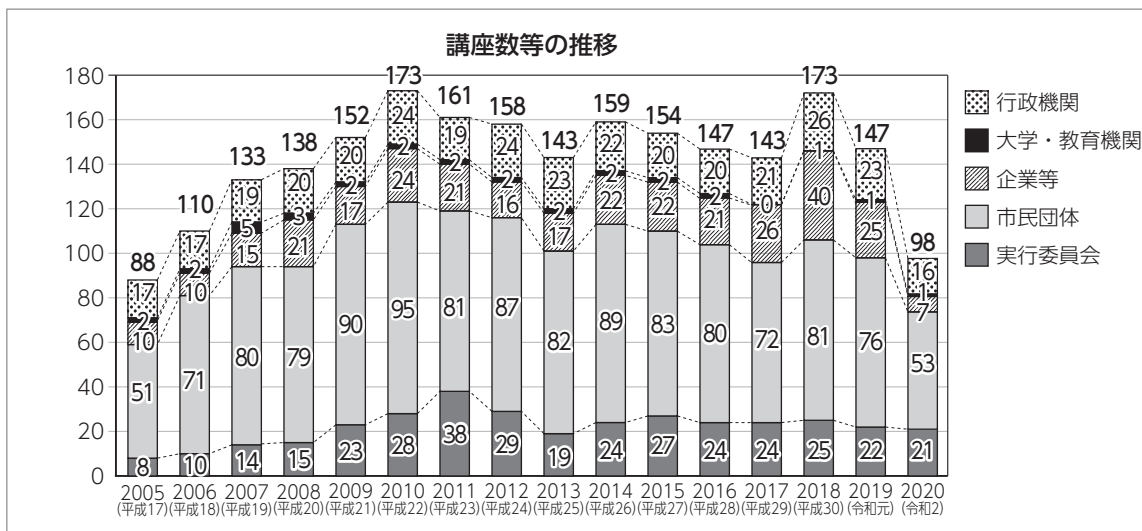
※2 CSR=Corporate Social Responsibility の略 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

なごや環境大学 開学以降の講座等実績の推移と 2021 年度への展望

■講座等実績の推移

1. 講座数の推移

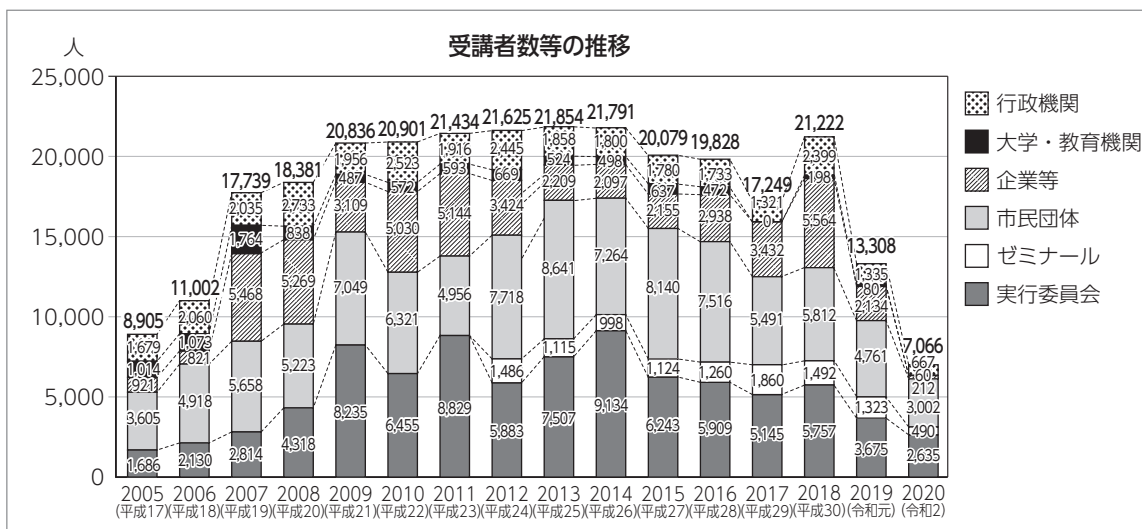
「なごや環境大学」実行委員会および各企画団体が実施した 2020 年度の講座数は 98 講座でした。例年並みの企画はしていただいたものの、特に前期は新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言のために全部の回を中止・延期に追い込まれた講座も多く、開催数としては減少してしまいました。



2. 受講者数等の推移

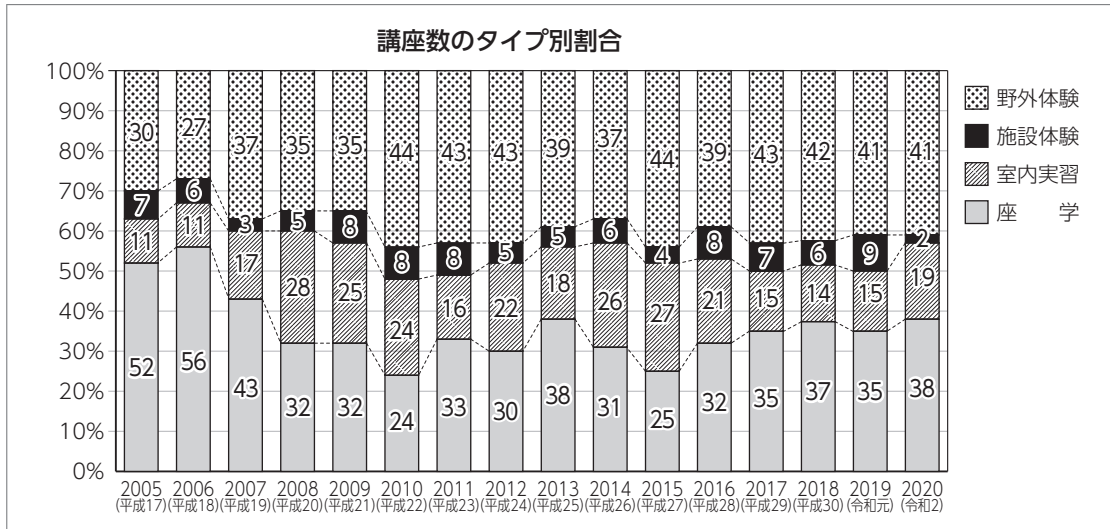
2020 年度の受講者数は昨年度に比べ 5 割ほど減少しました。企画団体別の内訳では、実行委員会、市民団体がそれぞれ 2600 人前後、企業等は 200 人ほどの受講者でした。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのイベント、講座などが中止や延期になりました。

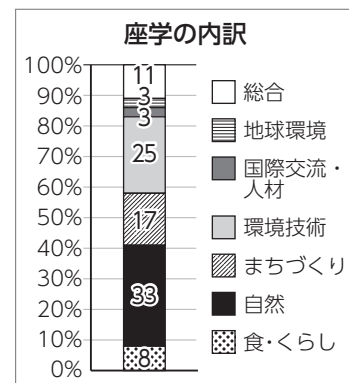
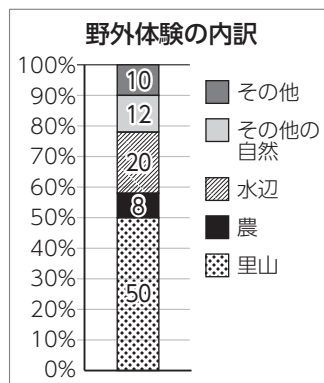


3. 講座タイプ別割合の推移

開学当初は座学が5割以上を占めていましたが、現在では座学が3割台となっています。また、野外体験、施設体験、屋内実習などの「体験・実習型講座」が6割台と講座のタイプが多様化しています。



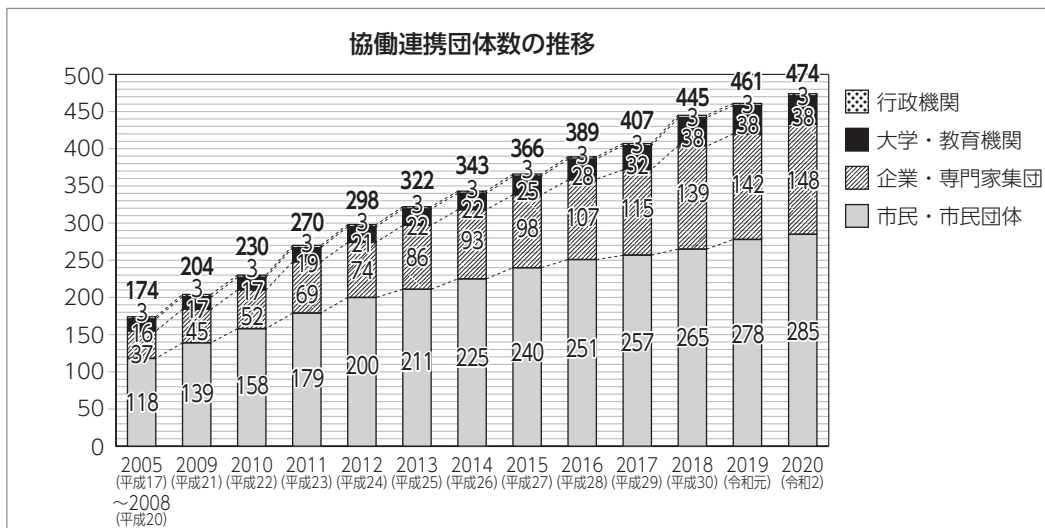
2020年度の講座タイプ別割合で、野外体験41%と座学38%で8割ほど占めています。野外体験の内訳は、里山や農、水辺、その他の自然など、多岐にわたります。座学の内訳も、食・くらし、自然、まちづくり、環境技術、国際交流・人材、地球環境と広範囲です。



4. なごや環境大学を支える仲間たちの推移（累計）

なごや環境大学を支える講座企画団体や協働連携団体の累計は、2020年度で474団体となり、開学当時の2倍以上になりました。毎年20前後の新しい団体が増えています。

なごや環境大学は多くの仲間たちによって支えられています。



■なごや環境大学 2020 年度の振り返りと次年度への展望

～なごや環境大学受講生および
講座主催団体へのアンケート調査結果から～

代表幹事 大鹿 聖公（愛知教育大学）

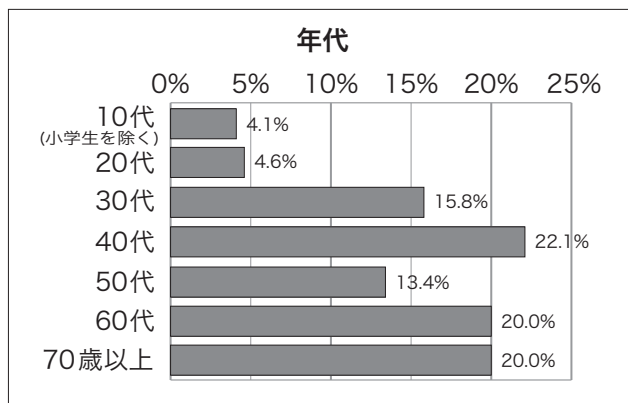
2020 年度に実施した各種講座および小学生向け講座の受講者、講座企画者を対象としたアンケート結果から、なごや環境大学の活動の振り返りを行いました。（前期は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため多くの講座が中止、延期となり、例年より回答数が減っています。）

1. 各種講座受講者に関する分析結果

講座の受講者の中から、延べ 1,549 名のアンケート回答をいただきました。回答いただいた受講者の皆さん、ご協力ありがとうございました。なお、それぞれの設問は、有効回答のみを集計しています。

●年齢

受講者の年代は「40 代」が 22.1% と最も高く、ついで、「60 代」、「70 代」がそれぞれ 20%、「30 代」が 15.8% でした。「小学生を除く 10 代」4.1%、「20 代」4.6% と若い世代の比率が低くなっています。ここ数年 70 歳以上が高い傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から社会人向けオンラインセミナーを連続して開催したことで、30 代、40 代の参加率が上がったと考えられます。ユース向けの講座を積極的に行い、若い世代向けの講座の改善を試みていますが、全体から見てその結果が表れていないのは残念です。



●在住・在勤地

受講者の在住・在勤地は名古屋市内 57.5%、愛知県内を含めると 85.8% でした。一方、昨年 6.5% だった県外在住・在勤の割合が、13.2% と上昇したのは、オンライン開催による参加のし易さから、県外の参加率が上がったためと考えられます。

●認知度と受講経験

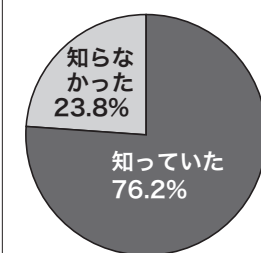
なごや環境大学の認知度について、受講者の 23.8% が「知らなかった」と回答していました。この比率は 2019 年度と比較して 2.6 ポイントの増加で、新規受講者である「初めて受講した」方も 29.3% と、2019 年度比較して 6.4 ポイント増加し、新規層への広がりが感じられる結果となりました。

この結果は、今までのリピーターである受講者がオンライン開催によって参加が減ったこと、逆にオンライン開催によって今までにない受講者が増加した結果が反映されているものと思われます。今後は、講座の開催形態が従来の対面だけでなく、オンラインによる開催など多様な展開が継続されていきます。そのことを踏まえ、若者を中心とした新規受講者にも参加しやすく、リピーターとして継続して参加しなくなる講座の開設などに取り組む必要があると考えられます。

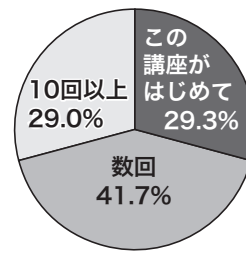
●情報入手方法

講座情報の入手については、「友人や知り合いから聞いて」という口コミが 25.3%、「なごや環境大学のガイドブック」を見て知った割合が 21.0%、合わせて全体の 5 割近くとなっています。ガイドブックについては昨年の 33.2% から 12.2 ポイント減少していますが、「ホームページを見て」という回答

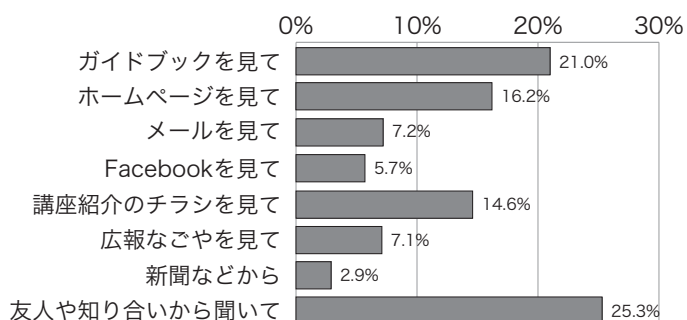
なごや環境大学の認知度



講座への参加回数



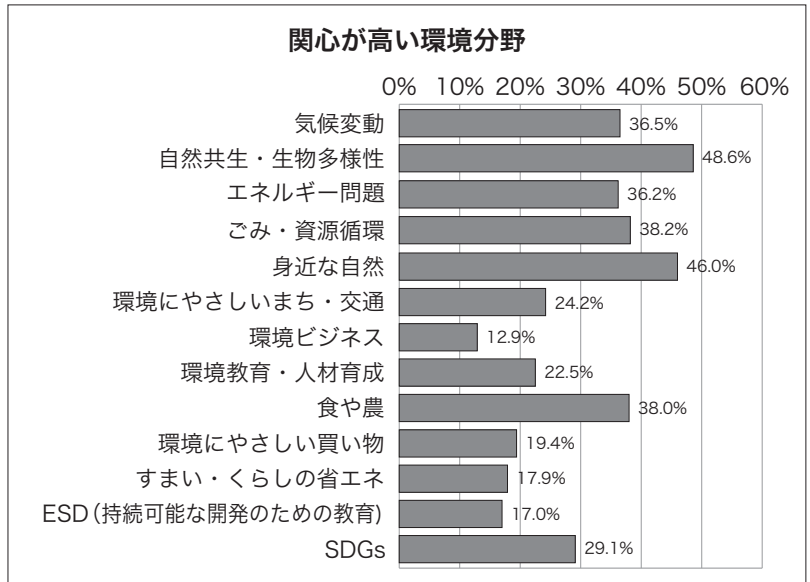
情報入手方法



が2019年度の12.3%から16.2%、「メールを見て」が2.9%から7.2%、「facebookを見て」が3.2%から5.7%とそれぞれ増加しています。これは新型コロナウイルス感染症により、配架施設等にてガイドブックを手にする機会が減り、代わりにウェブサイトやメール、facebookなどから情報を得て受講するケースが増えたためと考えられます。今後は、ウェブコンテンツについて内容構成をよりわかりやすく改善していくとともに、若い世代や新規受講者を増やすため、スマートフォンやタブレット端末などマルチメディア機器から手軽に入手できる情報の充実などに取り組んでいきたいと思ひます。

●関心が高い分野

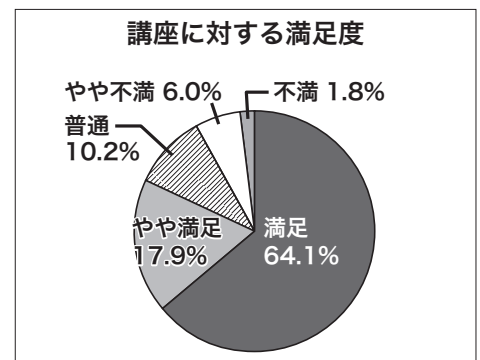
関心がある分野としては、「自然共生・生物多様性」、「身近な自然」が4割を超え、「食や農」、「気候変動」、「ごみ・資源循環」「エネルギー」がいずれも3割以上を占めていました。「自然共生・生物多様性」「身近な自然」「食や農」は常に関心が高い傾向がありますが、中でもエネルギー問題は19年度から8.8ポイントをはじめ、すべての分野においてポイントが上昇しています。特定の分野に興味を持つのではなく、全体的に関心を持っていることの表れとも考えられます。SDGsに関しては、20年度からアンケートに加えましたが、高い関心を示されていることが分かります。引き続き、時流をとらえながら、受講者のみなさんのニーズに応えられるような取組を増やしていきたいと考えています。



●講座に対する満足度

講座に対する満足度は「満足」、「やや満足」を含めて82%と高い評価をいただきました。

今年度は、開催の形態がオンラインなど特殊な状況で主催団体にも工夫をお願いしておりましたが、そのような状況も踏まえて、講座企画団体の皆様の努力や工夫が反映されたものと思ひます。

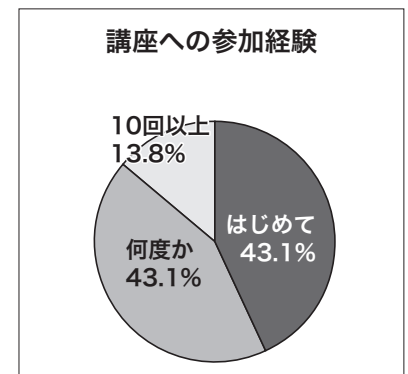


2. 小学生向け講座に関する分析結果

小学生の受講者241人に対するアンケートによると、受講者の93.6%が名古屋市内・愛知県内でした。初めて講座に参加した子どもが43.1%と10.4ポイント増加、同時に「何度か」、「10回以上」参加している子どもは合わせて56.9%と、半数以上がリピート参加していることがわかります。

講座の内容については、「楽しかった」と感じた子どもが全体の95.6%と非常に高いことが特徴的です。また、「また参加したいな」についても、○(したい)が92.3%、「わかりやすさ」についての評価も2019年度より1.5ポイント上昇しており、全体として子どもの参加者が講座に非常に満足して、また参加したいと思っていることがわかります。

内容	○	△	×
楽しかったかな?	95.6%	4.4%	0%
わかりやすかったかな?	88.3%	9.7%	2.0%
また参加したいかな?	92.3%	6.9%	0.8%



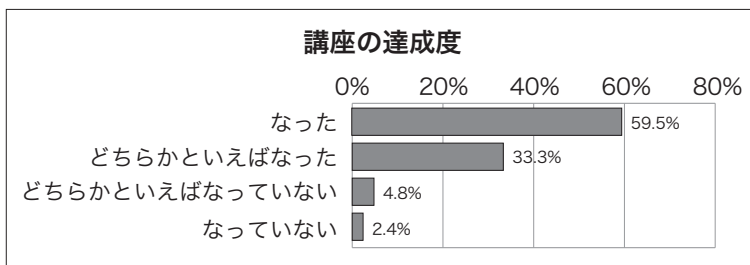
3. 講座主催団体に対するアンケートの分析結果

なごや環境大学の共育講座を企画運営していただいているNPOや企業などの講座企画者からのアンケート回答をいただきました。

●講座の達成度

講座の達成度については、企画団体の「なった」、「どちらかといえばなった」を含め92.8%と、ほとんどの団体が主催者として講座全体に満足しています。

講座の企画内容や運営に制限があった中、このような結果が得られたことは、企画者の皆様の努力と参加者の意識の高さが現れているものと思います。



●講座の運営

講座の運営に関して、表に示した9項目について、それぞれ4段階で自己評価していただきました。「スタッフ数」、「講座の時間配分」、「内容」、「手法」、「会場」、「準備」の項目で「十分」との回答が5割を超えていますが、「広報」、「参加者の人数」、「収入と収支のバランス」が「十分」との回答は3割程度にとどまっています。

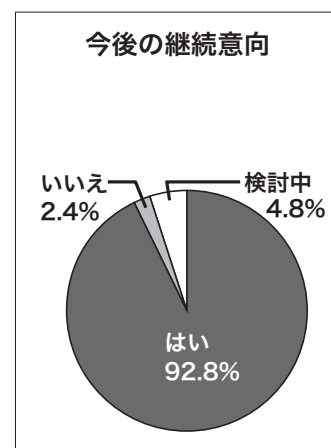
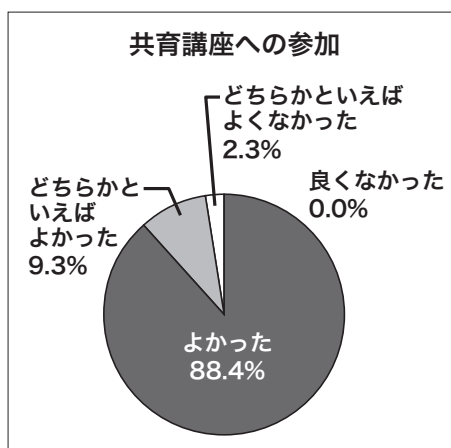
2019年度からアンケートに「広報」、「参加者の人数」を項目に加えました。

この結果の低い3項目は、コロナ禍による影響が強く表れたものと思われます。ガイドブックの配布が十分にできなかったことや参加控えなどで参加者の人数が低下する傾向が伺えます。広報に力を入れることが講座を成功させるポイントと考えられます。

	十分	ほぼ十分だった	少し足りなかった	足りなかった
①スタッフ数	61.0%	31.7%	7.3%	0.0%
②講座の時間配分	63.4%	31.7%	4.9%	0.0%
③内容	70.7%	24.4%	4.9%	0.0%
④手法	65.0%	27.5%	7.5%	0.0%
⑤会場	66.7%	30.8%	2.6%	0.0%
⑥準備	58.5%	39.0%	2.4%	0.0%
⑦広報	30.8%	46.2%	18.0%	5.1%
⑧参加者の人数	31.7%	31.7%	34.2%	2.4%
⑨収入と収支のバランス	24.2%	39.4%	33.3%	3.0%

●講座の改善・今後の展望

共育講座という参画のしかたについては、全体の97.7%の団体が「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答しており、このしくみが重要な意義を持っていることがわかります。また、今後の継続意向についても、92.8%の団体が継続したいと回答していました。



●まとめ

以上、2020年度の各種アンケート結果の分析から、なごや環境大学が、NPO・市民活動団体、企業、行政、教育機関などと協働して役割分担している共育講座のしくみは、講座主催団体・受講者いずれからも高い評価を得ていることがわかります。しかし同時に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による全体的な参加者数の減少や、若い受講者の増加数が頭打ちになっているなど、新規受講者層の開拓がより必要となってきています。SDGsに関する講座の充実やユース世代が参加しやすい工夫など、受講者、講座企画者のニーズをしっかりと把握し、なごや環境大学の企画運営を進展させていきたいと考えています。

共育講座

名古屋市内および近隣地域をキャンパスとして、『共に学び合い』『育ち合う』環境講座を「共育講座」と表現し、展開しています。講座の企画・運営は、趣旨に賛同した市民／市民団体や企業、教育機関、そして行政などが行い、企画を持ち寄り、協働で運営しています。

2020年度は、前期は32講座、後期は48講座、合わせて80の講座を開催しました。（イベント等を除く）

各講座の詳細や団体情報については、なごや環境大学のウェブサイト内「アーカイブ」や「エコパートナーズデータベース」に掲載しています。

屋外（里山や水辺）も屋内（教室や工場）も「まちじゅうがキャンパス」です。

座学、フィールドワーク、討論、ワークショップ、調査・研究など様々な講座を実施しました。

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部延期・中止となる回も発生しました。



共育ゼミナール

『共育ゼミナール』は、開校以来進めてきた受講生を招く『共育講座』の発展の形として、2012年度から開始しています。「行動しやすくなるしくみづくり」の一つとして、調査・研究、社会実験、提言とりまとめなどを行っています。

2020年度は、5団体が年間を通じて活動しました。



都市の自然のモノサシづくり

団体名 モノサシなごや
(都市の自然のモノサシ研究会)

都市にとって、「健康な植生活」って何？身近な自然と、どうつきあえばイイの？…そんなギモンやモヤモヤを、スッキリさせたい！

東谷山の森の中での二ホンミツバチの飼育活動

団体名 東谷山二ホンミツバチプロジェクト
実行委員会

二ホンミツバチの自然繁殖条件の調査と自然繁殖による生物多様性の維持保全活動

堀川最上流の自然環境を調べる！

団体名 川ナビ歩こう会・
株式会社地域環境計画名古屋支社

堀川最上流部の水辺環境とそこに生息する動植物の状況把握を目的とします。水質調査のほか、魚類や爬虫類、貝類、水生昆虫などの水生動物、水草などを対象とした調査を実施。

外来種を捕る会、食べる会3

団体名 なごや外来種を考える会

ザリガニなどの外来生物を捕獲する会と調理して食べる会の連続講座は今度で3年目。身近な侵略的外来生物の捕獲と命を大切にいただくことを体験してもらいます。

「ESD for 2030」NAGOYA プロジェクト～学びに向かう力を育む

団体名 一般社団法人 SDGs コミュニティ

すべての学校で SDGs 学習が取り組まれる状況を目指し、教育関係者と、SDGs カリキュラムの創出、実践の場づくりを行う。



2020 年度

実行委員会主催事業・イベント出展の一覧

○屋外体験 / △屋内実習 / ●座学・鑑賞

◆市民活動団体 / ▼企業・経済団体 / ▽行政・教育機関

■主催事業 ※オンラインでの参加含む

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	生物多様性とサブカルチャーの世界 ※	1回	167	共催：▽名古屋市、後援：▽環境省中部地方環境事務所
●	環境白書から実践へ 2020 ～SDGs17の目標その先へ！	1回	250	共催：▽環境省中部地方環境事務所、▼愛知学院大学名城公園キャンパス地域連携センター
○△	森林プロジェクト	10回	180	共催：▽岐阜県立森林文化アカデミー、▼岩間造園（株）、◆八事里山づくりの会、▽昭和区役所
●	SDGs 未来創造クラブまちづくりプロジェクト in 錦二丁目ワークショップ※	3回	193	協力：錦二丁目まちづくり協議会 報告会含む
●	SDGs セミナー 「企業活動とSDGs ～SDGsの実践に向けて～」※	1回	109	協力：錦二丁目まちづくり協議会
●	昭和区まちづくりプロジェクト	7回	135	共催：▽昭和区役所
●	SDGs オンラインセミナー 2030年の先をみつめる人々※	10回	668	
●	環境と法	15回	315	共催：▽愛知学院大学
○	みちにわ SDGs マルシェ	1回	700	協力：▼錦二丁目まちづくり協議会



昭和区まちづくりプロジェクト



SDGs オンラインセミナー



森林プロジェクト



みちにわ SDGs マルシェ



■主催事業

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	SDGs にむけての協働型のしくみづくり 自治体ミーティング 2020	1 回	35	
●	池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや	1 回	455	共催：▽愛知学院大学、後援：▼中部圏 SDGs 広域プラットフォーム、協力：▽愛知高 等学校



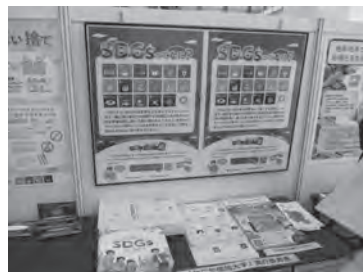
自治体ミーティング 2020



池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや

■イベント出展、その他

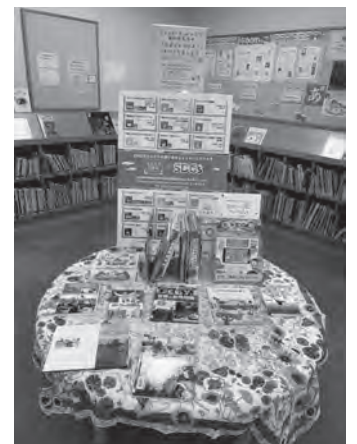
講座種別	事業名	日にち	延人数	備考
△	名古屋市消費生活フェア 2020	1/30	81	主催：▽名古屋市
△	名古屋市図書館特設展示「SDGs ってなに？」	12/26～ 1/31	1,020	



名古屋市消費生活フェア 2020



図書館で配布した間伐材のハガキ



名古屋市図書館特設展示

2020 年度連携講座一覧

連携講座は、なごや環境大学の趣旨にご賛同いただいた企業・団体等が実施する講座・イベントです。
2020 年度は 6 講座が開催されました。

	開催日	講座名	実施者
1	2020 年 6 月 27 日～10 月 25 日	なごや自然教室	名古屋自然観察会
2	2020 年 6 月 7 日 ～2021 年 3 月 7 日	なごや森づくり講座	名古屋市緑政土木局
3	2020 年 7 月 1 日～9 月 10 日	パナソニックエコシステムズ株式会社	パナソニックエコシステムズ株式会社
4	2020 年 11 月 8 日、12 月 13 日	エコツアー ～ 渥美を学び、渥美を食べよう！	環境ボランティアサークル亀の子隊
5	2021 年 1 月 18 日 ～2021 年 1 月 24 日	名古屋市立大学 都市政策研究センター 2020 年度シンポジウム	名古屋市立大学
6	2021 年 3 月 27 日	MERRY SDGs ACTION ～未来を SDGs のア クションで笑顔いっぱい！	特定非営利活動法人 MERRY PROJECT

(実施順)

共育講座・ ゼミナール一覧 2020年度(前期)

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
Z-01	おばあちゃんの知恵から学ぼう。食から始まるシンプル暮らし術	養生キッチンふうど				○	○
Z-02	都市の自然のモノサシづくり	モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
Z-03	外来種を捕る会、食べる会3	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
Z-04	東谷山の森の中でのニホンミツバチの飼育活動	東谷山ニホンミツバチプロジェクト 実行委員会				○	○
Z-05	「ESD for 2030」NAGOYA プロジェクトへ学びに向かう力を育む	一般社団法人 SDGs コミュニティ				○	○
Z-06	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・ 株式会社地域環境計画名古屋支社	○			○	○

講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
B-01	SDGs に取組む ごきそテクノカフェ	名古屋工業大学 ごきそ技術士会	○		○	○	○
C-01	高速道路橋の長寿命化への取り組みを学ぼう！	中日本高速道路株式会社 名古屋支社	○	○	○	○	○
C-02	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	○	○			
C-03	環境エネルギー塾	中部電力株式会社				○	
E-01	脱！ヒートアイランド！～国内外の都市緑化から～	中学生学習センター	○	○	○	○	○
E-02	気候変動の歴史をさぐる	天白生涯学習センター					○

講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
A-01	愛岐の里山たいけん隊～春の里山にいこう！～	「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市 愛岐処分場、名古屋市環境学習センター		○	○		
B-02	生物多様性条約 ポスト愛知目標はどうやって決まる！？	国連生物多様性の10年(UNDB) 市民ネットワーク				○	○
B-03	子ども向けワークショップ「野鳥探偵」	日本野鳥の会愛知県支部		○			
B-04	森で見つけ！自然と育むおやこの発見・創造プログラム	劇団森のパレット	○				
B-05	昆虫食について知り、実際に食べてみよう！	愛知県昆虫食を考える会	○	○	○	○	○
B-06	『樹木博士』～樹木で衣・食・住の森のめぐみを考えてみよう！～	森林インストラクター会「愛」	○	○	○	○	○
B-07	ピオトープと生物多様性(ピオトープ管理士試験対策)	ピオトープ・ネットワーク中部			○	○	○
B-08	おばたの森遊び	なごや環境塾 どんぐりころころグループ	○				
B-09	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～	NPO 法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
B-10	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	○	○	○	○	○
B-11	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
B-12	美味しい！楽しい！美しい！魅力いっぱい親子森遊び	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
B-13	渥美の磯で珍しい生き物を探そう！	環境ボランティアサークル 亀の子隊	○	○	○	○	○
B-14	中津川の自然、まるごとお楽しみ(第11回)	認定特定非営利活動法人 恵那山みどりの会	○	○	○	○	○
B-15	りす山の自然学校 なごやの野生ニホンリスと一緒に守りませんか？	守山リス研究会	○	○	○	○	○
B-16	夜の東山の森で虫たちを灯火採集！	なごやの生き物調査の会	○	○	○	○	○
B-17	みて きいて かんじて！自然と遊ぼうの会 森と川を楽しもう編	NPO みのむしックス	○	○			○
B-18	山県市北部でまったり2020 ～春・夏～	やまがたフットパス実行委員会	○	○	○	○	○
B-19	むささびっ子の森くらぶ	よりあい工房ばんどり	○				
B-20	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人 えこども	○	○	○	○	○
C-04	地域の森を知り 林業を知り 地域材を活用しよう	仲建設株式会社			○	○	○
C-05	なごやの森 de セルフケア&ナチュラルクラフト	prana(プラナ)				○	○
C-06	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	○	○	○	○	○
C-07	きみもプラネタリアン！～やってみよう、こどもプラネタリアム解説～	アクティオ株式会社 名古屋営業所	○	○	○		
C-08	第30回 環境フォーラム	株式会社 エステム	○	○	○	○	○

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した
様々な市民・市民団体が企画・運営し
ます。こどもにもわかりやすい講座か
ら、詳しく学びたい人向けの講座まで
いろいろあります。 講座番号 B

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。

講座番号 C

大学等が企画・運営する講座
です。

講座番号 D

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。

（生物多様性・気象・自然体験）
② 自然共生

③資源循環

（食・くらし・防災・安全）

⑤ まちづくり

⑥ 多文化共生
国際協力・

（人材育成・スキルアップ）
⑦ 人づくり

共育講座・ ゼミナール一覧 2020年度(後期)

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

ゼミナール	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	Z-02	都市の自然のモノサシづくり	モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	Z-03	外来種を捕る会、食べる会3	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
	Z-04	東谷山の森の中の二ホンミツバチの飼育活動	東谷山二ホンミツバチプロジェクト 実行委員会				○	○
	Z-05	「ESD for 2030」NAGOYA プロジェクト～学びに向かう力を育む	一般社団法人 SDGs コミュニティ				○	○
	Z-06	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・ 株式会社地域環境計画名古屋支社	○			○	○

多様性のめぐみ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	B-31	「樹木博士」～樹木で「衣・食・住」の森のめぐみを考えてみよう～	森林インストラクター会「愛」	○	○	○	○	○
	B-32	森からのプレゼント～腐葉土・飾り炭・シイタケづくり体験～	公益社団法人日本山岳会東海支部・ 猿投の森づくりの会	○	○	○	○	○
	B-33	木曽川がもたらす生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、働く	NPO 法人 「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」	○		○	○	○
	B-34	千湯の学校～藤前千湯でいろ～んなことしましよ！～	NPO 法人藤前千湯を守る会	○	○	○	○	○
	B-35	山県市北部でまったり 2020～秋・冬～	やまがたフットパス実行委員会	○	○	○	○	○

①低炭素 (エネルギー・気候変動)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	C-19	けんせつのしごと～ただいま、未来を建設中！～	戸田建設株式会社 名古屋支店	○	○	○	○	○
	C-20	春休み特別企画 東邦ガス 生物多様性講座	東邦ガス株式会社			○		
	D-02	2020年度次世代エネルギーワークショップ(学生編)	名古屋市立大学大学院経済学研究科(次世代エネルギーワークショップ推進委員会)				○	
	E-13	世界を変えるための目標～SDGsと環境保全の取り組み～	西生涯学習センター					○

②自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	A-03	愛岐の里山たいけん隊～秋の里山に行こう！～	「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市愛岐処分場、名古屋市環境学習センター		○	○		
	B-02	生物多様性条約 ポスト愛知目標はどうやって決まる!? [前期延期分]	国際生物多様性の10年(UNDB) 市民ネットワーク				○	○
	B-19	むささびっ子の森くらぶ [前期延期分]	よりあい工房ばんどり	○				
	B-36	乳幼児をもつ親子自然×脳育あそび ecocorokids	乳幼児自然×脳育あそび ecocorokids	○				
	B-37	アンディ先生と一緒に遊ぼう！学ぼう！北欧の自然環境教育	森のムッレあいち	○				
	B-38	おばたの森遊び	なごや環境塾 どんぐりころころグループ	○				
	B-39	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
	B-40	むささびっ子の森くらぶ	よりあい工房ばんどり	○				
	B-41	セントレアまるごとウォッチング 2020～環境と水際対策を考える～	環境カウンセラー 岡本明子				○	○
	B-42	生物多様性条約 ポスト愛知目標はどうやって決まる!?	国連生物多様性の10年(UNDB) 市民ネットワーク				○	○
	B-43	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	B-44	竹の伐り出しから！本格「門松」づくり～大人の自然工作～	特定非営利活動法人 東海自然学園	○		○	○	○
	B-45	みて きて かんじて！自然とあそぼうの会	NPO みのむしックス	○	○			○
	B-46	ももなも耕せプロジェクト「いのこの畑で綿をつくらう！」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	○	○	○	○	○
	B-47	りす山の自然学校 エキサイティングな学び体験をあなたのお子さんに	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	B-48	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
	B-49	冬眠前のカニにチャレンジ！	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
	B-50	美味しい！楽しい！美しい！魅力いっぱい親子で学ぶ自然の恵み	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
	C-21	なごやの森 de セルフケア&ナチュラルクラフト	prana(プラナ)			○	○	○
	C-22	バードウォッチングに挑戦!!～蟹江町にやってくるカモを観察♪～	株式会社 加藤建設 自然環境課	○				
	E-14	名古屋の公園で自然散策～歩いて自然に親しもう！～	昭和生涯学習センター					○

市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。こどもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。 講座番号 B

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。 講座番号 C

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。 講座番号 D

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全市民的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。 講座番号 E

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	E-15	守山を ぐるっとめぐって 自然散策～晩秋から初冬の移ろいを感じて～	守山生涯学習センター					○
	E-16	【公開講座】 里山・有機農業がもたらす生物多様性	瑞穂生涯学習センター					○
	E-17	【公開講座】 火山噴火と大気環境	中村生涯学習センター	○	○	○	○	○
	E-18	100 年先の未来を考える～企業の環境保全への取り組みを通して～	熱田生涯学習センター					○
	E-19	めざせ!! 水の環境復活 ～学んでみよう、水のこと～	名古屋市環境局地域環境対策課 水質地盤係	○	○	○	○	○

③ 資源循環 (3R・ごみ問題・産業廃棄物)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	B-51	みんなハッピー♪あそびは地球を救う! 「リサイクルあそびパーク」	わっぱの会	○	○	○		
	B-21	～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～手編みの基礎学へまずー [前期延期分]	手編み生涯学習ぐるーぷ&つながれと・イーブル・リサイクル3R グループ	○	○	○	○	○
	B-52	勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～簡単縫い・リメイク	手あみ生涯学習ぐるーぷ	○				○
	E-20	海洋プラスチックって何?～その原因と影響を探る～	港生涯学習センター	○	○	○	○	○

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	B-22	環境カウンセラーと行く『畜産と環境～肉の向こうに環境を見る～』 [前期延期分]	環境カウンセラー 岡本明子				○	○
	B-53	地域防災力を向上させる、活かし合う関係性を大曽根でデザインしよう	大曽根まちづくり会議	○			○	○
	B-54	防災減災まちあるき	名古屋大学防災サークル輪一わだち一	○		○	○	○
	B-55	ごきそテクノカフェ 新装 Web 講座・コロナ禍のもとでの SDG s 展望	名古屋工業大学 ごきそ技術士会	○		○	○	○
	B-56	親子向け防災体験講座	特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	○	○			
	B-57	防災・減災 寺子屋 ～コロナ禍の災害ボランティア入門～	災害ボランティアちくさネットワーク	○	○	○	○	○
	C-17	なごやの暮らしとシミズのごと part6 [前期延期分]	清水建設株式会社 名古屋支店	○	○	○	○	○
	E-21	食品ロスを減らす方法とは?～未来世代に向けたひと工夫～	千種生涯学習センター	○	○	○	○	○
	E-22	視程調査体験～ビルの見え方で大気のキレイさをたしかめよう～	名古屋市環境局大気環境対策課	○	○	○	○	○
	E-23	水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館	○	○	○	○	○
	E-24	【オンライン開催】 新型コロナ報道にみる環境測定技術	名古屋市環境科学調査センター			○	○	○

⑤ まちづくり (コンパクトシティ・交通・水)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	E-25	中川区発・名古屋の水環境を探る～今のわたしにできることは?～	中川生涯学習センター					○
	E-26	水環境からみた私たちの暮らし～都市を支える水循環システム～	イーブルなごや (名古屋市女性会館)	○	○	○	○	○

⑥ 国際協力・多文化共生	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	B-25	「食×国際交流」!世界の料理で環境を学ぼう♪ [前期延期分]	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	○
	B-58	「食×国際交流」!世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	○
	B-59	楽しく学ぶフェアトレード (通常開催 / オンライン開催)	名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会	○	○	○	○	○

⑦ 人材育成・スキルアップ (人づくり)	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	A-04	SDG s オンラインセミナー 2030 年の先をみつめる人々	「なごや環境大学」実行委員会				○	○
	B-27	SDG s で地球を守る あなたも地球エコ防衛隊になろう! [前期延期分]	地球エコ防衛隊	○				○
	B-30	レイチェル・カーソンの想いは今に続く [前期延期分]	レイチェル・カーソン日本協会 東海フォーラム	○		○	○	○
	B-60	社会と土木の「話の泉」	CE 技術の会			○	○	○
	B-61	SDGs で地球を守る あなたも地球エコ防衛隊になろう!	地球エコ防衛隊	○	○			○
	B-62	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会		○	○	○	○

持続可能な社会づくり～SDGs 達成を目指して～

なごや環境大学の第4期ビジョンの柱の一つである「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」の提供を目指し、市民／市民団体、企業、教育機関、行政など多様な主体と協働して、講座やイベントを実施しました。SDGs 達成を意識して取り組んだ2020年度の環境大学の講座や事業をピックアップしてご紹介します。

主催講座・主催事業

環境白書から実践へ 2020 ～SDGs17の目標 その先へ！～

2020年7月10日（金）250名参加

【会場】愛知学院大学 名城公園キャンパス / オンライン（ハイブリッド）

【講師】中島恵理氏（環境省大臣官房環境計画課計画官）

【ゲストスピーカー】藤井勉氏（愛知学院大学地域連携センター助教）、横地利彦氏（熱田神宮権禰宜）

●共催：環境省中部地方環境事務所、愛知学院大学名城公園キャンパス地域連携センター

第1部は環境白書を元に、世界・日本の現状とトピックを学び、第2部はSDGsへの取り組み方について話題提供をしながら、アフターコロナも踏まえたサステナブル社会を話し合う講座を実施したことで、SDGsの達成を自分ごととしてとらえ、行動・実践していくための機会の提供となりました。



SDGs オンラインセミナー 2030年の先をみつめる人々

2020年10月23日～2021年2月19日（全10回）668名参加

【会場】オンライン

【講師】河崎泰了氏（株式会社竹中工務店木造・木質建築推進本部営業・プロモーショングループ副部長）、杉山範子氏（名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授）、加古麻理江氏（フェアビーンズなごや地球ひろば店）、根岸恵子氏（NPO法人こどもNPO事務局）、松本イズミ氏（NPOフィトラボ代表）、多森成子氏（気象予報士）、亀井浩次氏（NPO法人藤前千淵を守る会理事長）、長谷川明子氏（ビオトープ・ネットワーク中部会長）、肆矢直司氏（東邦ガス株式会社CSR環境部長）、岸田眞代氏（岸田パートナーシップ研究所代表）



SDGs オンラインセミナー

2030年の先を
みつめる人々

本講座では、「森林ブランドサイクル（第1回）」に始まり、「エネルギー転換（第2回）」、「フェアトレード（第3回）」、「子どもと食（第4回）」、「持続可能な働き方や暮らし（第5回）」、「気候変動（第6回）」、「海の豊かさ（第7回）」、「陸の豊かさ（第8回）」、「低炭素なまちづくり（第9回）」、「協働（第10回）」と、関わりが深いSDGsの目標になぞらえて、自身の多様な活動を紹介する講座を行い、なごや環境大学が実践するSDGsを示しました。

SDGs に向けての協働型のしくみづくり 自治体ミーティング 2020

2021年1月29日（金）20自治体 35名参加

【会場】名古屋市環境学習センター / オンライン（ハイブリッド）

【コーディネーター】千頭 聡氏（なごや環境大学アドバイザーボード、日本福祉大学教授、藤前千淵協議会 会長）

【司会進行】松本イズミ氏（なごや環境大学アドバイザーボード、NPO フィトラボ代表）

コロナ禍の中、SDGs 施策をどう運用するかについて意見交換を図るとともに、各地域でSDGs に向けた協働型の仕組みづくりへの契機・協働の輪の広がりを目指すことを目的に実施しました。先進事例や特徴的な取り組みをされている自治体の事例を聞くことで、多くの自治体が感じている「何をどうすることがSDGsの推進につながるのか」という共通の悩みに対する解決の糸口を探るヒントを提供する場となり、自治体間の連携に繋がりました。





池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや

2021 年 3 月 14 日（日）455 名参加

【会場】愛知学院大学 名城公園キャンパス / オンライン（ハイブリッド）

【登壇者】（第 1 部）愛知学院大学 2 名、愛知高等学校 2 名、なごや環境大学ユーザークラブ（名城大学）1 名（第 2 部）愛知県政策企画局、名古屋市 環境局、東邦ガス株式会社 CSR 環境部、ブラザー工業株式会社 CSR& コミュニケーション部、なごや環境大学アドバイザーボード

●共催：愛知学院大学

高校生や大学生を対象に、ジャーナリストの池上彰さん（愛知学院大学特任教授）と、3 部構成で SDGs の基本や愛知県内の自治体・企業・団体の SDGs に対する取り組みの現状を紹介しました。



昭和区の魅力アップを考えよう

2020 年 9 月～ 2021 年 3 月 延べ 135 名

【講師】長谷川明子氏（ビオトープ・ネットワーク中部会長）、篠田陽作氏（環境省自然公園指導員）

●共催：昭和区役所

大学生・高校生が主体となり「住み続けたい昭和区」を考えて事業化へつなげていくプロジェクトを実施しました。令和 2 年度は、区内の大きな公園を活用した区の魅力向上を考えました。公園のフィールド見学やワークショップを通してアイデアを出し合い令和 3 年度への実施案を作りました。また八事興正寺公園では令和 3 年度のイベント実施に先立ち、学生自らが主体となって間伐作業を行いました。



講座企画者説明会・情報交流

年 2 期の企画者に向けた説明会はオンライン上で実施しました。コロナ禍での悩みや対策、できることを模索するための意見交換会を実施しました。

スキルアップ講座

ウェブ上での共育講座の実施のスキルを学ぶ「はじめてのオンライン共育講座」を初級・中級と 2 回に分けて実施しました。機器の操作や画面設定など、オンラインでも配信ができるスキルを学びました。





森林プロジェクト

森イキ！デザインニングプロジェクト成果発表会

2020年10月17日（土）サテライトプログラム 34名参加
10月31日（土）成果発表会

2019年度設楽町神田での活動に参加した皆さんがまとめた5つのデザイン等の成果発表会と神田の森びらきを開催。なごやサテライトプログラムでは、神田の木を使ったオリジナル木琴づくりを行いました。



森林スキルアップ講座

2020年11月24日（火） 47名参加
2021年3月3日（水）

●共催：岐阜県立森林文化アカデミー、岩間造園株式会社

森林整備のためのファーストステップとして、みどりとつきあうための基礎知識・管理技術等を身につける講座を開催。



森林整備体験

2021年3月9日（火） 10名参加
●共催：公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会
2021年3月13日（土）
●共催：NPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」



共催講座で縁のある市民団体との共催で、水源保全と森林整備等の活動を実際に体験する講座を実施しました。

名古屋の森の映えスポット探し！ & グリーンフォレスターと語ろう

2021年3月17日（水）なごや西の森（戸田川緑地）、熱田神宮 72名参加
20日（土）平針の里山、オ井戸流
24日（水）動画づくりとオンラインセミナー

大学生や若手社会人たちと市内に点在する森を訪れ、魅力や抱える問題を知り、映像作成等を通じて解決策を考えました。また森づくりや活動にいかすため、オンラインでスイスで森づくりの活動をしている講師とつなぎ「近自然森づくり」を学ぶセミナーを実施しました。



SDGs 未来創造クラブ

まちづくりプロジェクト

2020年8月19日(水)～2021年1月20日

【参加】SDGs まちづくりプロジェクトワークショップ 193名、SDGs セミナー 109名、
みちにわ SDGs マルシェ 700名【会場】錦二丁目内施設(コットンビル、常瑞寺、IMOM スペース、エコパルなごや等)、道路(長
島町通)、オンライン【プロジェクトリーダー】千頭聡氏(なごや環境大学アドバイザーボード、日本福祉大学
教授、藤前干潟協議会 会長)

【プロジェクトメンバー】堀田勝彦氏(錦二丁目まちづくり協議会 会長)

【ファシリテーター】名畑恵氏(錦二丁目エリアマネジメント株式会社)

「まちづくりプロジェクト」では、錦二丁目地区をモデルエリアに地域の課題解決を目指して、事業者、地域団体等の多様な主体が参加して、SDGsの視点を取り入れたまちづくりに取り組みました。事業者、地域団体等の多様な主体が参加し、地域の課題や各自の取り組みを共有する2回のワークショップを経て、テーマごとに5つのグループに分かれ、約半年にわたって、SDGsの達成につながる事業展開を検討しました。

11月には、住民・事業者等にSDGs達成に向けた新しい暮らしやまちを感じてもらうきっかけとなることを目指した「みちにわ SDGs マルシェ」を錦二丁目内の道路空間を活用して開催し、一部のグループからは複数の企業の協働による出展も行いました。



ワーキンググループの様子



みちにわ SDGs マルシェ

人づくりプロジェクト

2020年12月16日 ウェブサイト SDGs 街(マーチ) 開設

2020年12月26日～2021年1月31日 名古屋市図書館特設展示 1,020
名参加

【プロジェクトリーダー】大鹿聖公氏(愛知教育大学 教授)

【プロジェクトメンバー】藤井昌也氏(名古屋市教育委員会 教育次長)

「人づくりプロジェクト」では、小学生向けにSDGsを学べるウェブサイトやツールを制作してSDGs達成への意識を育み、持続可能なまちづくりを担う人づくりに取り組みました。12月に開設した、ウェブサイト「なごやSDGs街(マーチ)」では、まちづくりゲームや、企業・施設等の取り組みを動画で紹介する「SDGs チューブ」、SDGsの取り組みやアイデアを投稿できる「SDGs みんなのアイデア」などのコンテンツにより、楽しみながらSDGsについて学べます。また、パネル・ワークシートなどにより各施設の取り組みを学ぶ「SDGs フィールド」を実施するとともに、小学生の冬休みの日誌「冬の生活」と連携し市内21図書館においてSDGs特設展示を実施しました。そのほか、SDGsについて学べる「SDGs かるた」・「SDGs すごく」などを制作・展開しました。



ウェブサイト「なごやSDGs街(マーチ)」



SDGs かるた・すごく



全体総括 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

- 時流を捉え、未来志向の共創につながる機会を作り出すような事業を展開します。
- なごや環境大学のこれまでの多様なつながりを活かしつつ、2030 年の SDGs 達成に貢献できるように求心力を高めていく手法を検討、実施します。
- 新型コロナウイルスにより、社会活動が停滞する中で、感染拡大防止等の変化に対応しながら、積極的に活動する団体や活動を支援する体制づくりを行います。
- 2021 年に中間年を迎える第 4 期ビジョンの達成度と今後の方向性について確認、検討する。

【重点取り組み事項】

1 「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」を提供します。

- ・主催講座・主催事業の企画・実施（主催事業：「なごや環境大学 SDGs セミナー 2030 年の先を見つめる人々」。「生物多様性とサブカルチャーの世界」。「SDGs に向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング」。共催事業：「環境白書から実践へ 2020 ～SDGs17 の目標その先へ～」環境省、愛知学院大学と共催。「池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや」愛知学院大学と共催。）

2 人材・組織のデータベース、双方向コミュニケーションを可能にする情報媒体を活用し、多様な主体が情報資源等を持ち寄り、意見を出し合う場をつくり出す。

- ・リソースマッチングを目的として構築した「共育講座・共育ゼミナール団体のデータベース」「エコパートナーズ データベース」を公開した。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、共育講座企画者とオンライン意見交換を行い、要望のあった「はじめてのオンライン共育講座」を実施し、オンライン化対応のためのスキルアップを図った。

3 協働による社会実験など、多様な主体に行動する機会や場を提供します。

- ・SDGs 未来創造クラブまちづくりプロジェクトにおいて、錦二丁目モデルエリアに事業者、地域団体等の多様な主体が参加して SDGs 達成に向けた取組を検討するワークショップや地域のまちづくり団体等との連携による錦二丁目内の道路空間を活用した「SDGs みちにわマルシェ」の開催を通じて錦二丁目 SDGs につながる社会実験に取り組んだ。

4 持続可能な都市を担う「次世代育成」のために、ユースを対象にした事業の充実を図ります。

- ・愛知学院大学にて連携協定に基づき、「環境と法」を開講した。また、学生を対象とした「池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや」を開催し、開催状況をオンラインで同時配信した。
- ・若者の視点をまちづくりに活かす機会として、昭和区役所と連携し「昭和区まちづくりプロジェクト」を開催した。
- ・インスタグラムを利用した「# プラかん」や、市内に点在する森が抱える問題について考え、映像を作成し SNS 配信する「名古屋の森の映えスポット探し！」を実施し、ユースが参加しやすい事業の充実を図った。

- ・ガイドブックをより多くの若者にも手にとってもらえるよう、学生や若手デザイナーを対象に表紙デザインコンペティションを実施している。

5 目標達成のための定量的（定性的）な評価指標と評価方法を導入します。

- ・なごや環境大学の評価指標、評価方法、達成目標は引き続き議論が必要である。

6 なごや環境大学がより発展するために、外部資金導入も図り、新たな事業展開をめざします。

- ・名古屋市内が内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されたことから、新たに設置した「SDGs 未来創造クラブ」において、SDGs を展開する活動に取り組んでいる。

7 なごや環境大学のブランディングを図ります。

- ・ブランディングのためのアクションについては、結論には至っていないが、具体的な取り組みとして、著名人による講座の開設や、「なごや環境大学共育ゼミナール調査・研究報告書」の各図書館への配架を行い、なごや環境大学の知名度向上に努めた。

企画チーム報告 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

＜以下、すべての方針、事業において SDGs を念頭に置く＞

- SDGs を合言葉に、ライフスタイルやワークスタイル、まちづくりなど実生活において未来志向を育み、ありたい姿・社会をひとりひとりが創造する機会を創ります
- Think globally, act locally の視点で様々な主体のハブとなり、共に SDGs の達成に貢献する機会を創ります

【重点取り組み事項】

1 SDGs に沿い、時事に即したテーマでの啓蒙活動・主催事業企画を行う

- ・「生物多様性とサブカルチャーの世界」をオンラインで開催。五箇公一氏を講師に迎え、生物多様性という観点から SF などのサブカルチャーをとりあげ、生物との共存の大切さを読み解いて SDGs へとつなげていくセミナーを実施し、幅広い層と共に生物多様性と SDGs 達成について考えた。
- ・「SDGs オンラインセミナー 2030 年の先を見つめる人々」を開催（全 10 回）。2030 年目標の SDGs のさらに先を見つめながら活動続ける方を講師に迎え、関わりが深い SDGs の目標になぞらえて、多様な活動を紹介する講座を実施することにより、なごや環境大学が実践する SDGs を示すことができた。
- ・愛知学院大学との共催で「池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや」を開催。SDGs について関心はあるものの、何かよくわからないという、特に次の時代を担う若い世代の「SDGs 入門希望者」に、わかりやすく SDGs の基本や地域における SDGs 活動の現状とこれからを伝えた。

2 SDGs 達成の主役を担う若者や子どもたちへ働きかけるしかけを作っていく

- ・大学生を中心に SNS 企画（# プラかん）を実施。コロナ禍の暮らしでプラスチック需要が高まる一方、外出自粛が続く中でもできる環

境活動として、脱・プラスチック活動を企画。自分が 1 日に出したプラスチックごみを、写真撮ることで認識し、さらに、画像投稿サービス「インスタグラム」に投稿することで、持続可能な環境づくりに一人ひとりが参加することに繋がった。

- ・昭和区役所と連携し、高校生から大学生を中心とする次世代を担う若者と協働で、昭和区にある公園をフィールドに、公園の可能性、with コロナ時代にあった利活用方法の企画、発表を行い、次年度に企画を実現することに向けての基礎を築いた。
- ・愛知学院大学との連携協定に基づく講座「環境と法」を開催。（全 15 回）産、官、民それぞれのセクターから専門家を講師とし、環境問題の現状や持続可能な社会を実現するための法制度と実質的な取り組みについての講義を実施することで、学生が理論と経験の両側面から学ぶことができた。
- ・愛知淑徳大学 CCC 開設科目「企画立案の基礎」の授業に参画。（3 年目）今年度は「SDGs 達成のために地域課題を解決する企画」を課題とし、5 つのテーマ（①名古屋をリサイクル先進都市に②名古屋の海の豊かさを守る③名古屋から食品ロスを減らそう④多文化・多世代が共生できるまちづくり⑤ SDGs を PR するための取組み）から 1 つを選択し、企画立案を求めることで、大学生の柔軟かつ魅力的な提案がなされた。

3 SDGs の達成に向けて、他自治体や、企業、

市民団体等との連携を強化し、相乗効果を生み出す

- ・「環境白書から実践へ 2020」（環境省中部地方環境事務所、愛知学院大学名城公園キャンパス地域連携センターと共催）をオンラインで実施。第 1 部は環境白書をもとに日本や世界の現状とトピックを環境省職員より解説いただいた。第 2 部では、SDGs への取り組み方について話題を提供しながら、アフターコロナも踏まえたサステナブル社会を話し合い、SDGs の達成を自分事として捉え、行動・実践していくための機会を提供することができた。
- ・「SDGs に向けての協働型のしくみづくり 自治体ミーティング 2020」を開催。20 自治体 35 名が参加し、コロナ禍の中、SDGs 施策をどう運用するかについて意見交換を行った。事例発表や意見交換により、自治体間のネットワークづくりを強め、次年度以降の自治体間連携の布石とすることができた。

4 「なごや環境ハンドブック」の改定と新たな利活用の促進を通して、市民に向けてしっかりと情報の提供を図る

- ・なごや環境大学のテキストとして講座での使用はもちろん、販売も視野にいれ、SDGs を意識した読みやすい雑誌風への改定作業を進行中。

人の環・広報チーム報告 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

- 共育講座・共育ゼミナールの充実を図る。
- 共育講座・共育ゼミナール団体の交流（情報共有・情報交換）を促進する。
- なごや環境大学の存在と活動内容をより多くの人に知ってもらうための広報の実施。
- 話題づくり・情報提供によりパブリシティを活用した発信性の強化を図る。

【重点取り組み事項】

1 安心・安全な共育講座・共育ゼミナールの運営

- ・ 講座等の新型コロナウイルス感染予防対策については、対応策をまとめた文書を発信し、消毒液や検温計等不足の際に貸し出せる体制を整えた。
- ・ 開催が延期となった前期分は、後期のガイドブックとウェブサイトに掲載。
- ・ リアル開催できない際のオンライン化対応のためスキルアップ講座「はじめてのオンライン共育講座」を実施した。

2 共育講座企画者や受講者等との意見交換会の実施

- ・ コロナ禍での共育講座のオンライン実施について、オンライン上で「団体有志での意見交

換会」(6/6)を実施。このときの要望や意見を反映し、全企画者が集まる 2020 年後期共育講座企画者向け説明会時に、情報交換会「新型コロナ禍でのオンライン講座の可能性について」を実施した。また 2021 年前期の説明会時には、「コロナ禍での講座運営について」実際の工夫等情報を収集、共有した。

3 ウェブサイトのリニューアル

- ・ ウェブサイトについては、次年度のフルリニューアルを見据え、プロジェクト形式で準備会を実施。目的に応じより多くの利用者が使いやすい構成について意見出しをした。
- ・ SDGs の目標別や環境分野等目的別に検索で

きる企画団体のデータベース「エコパートナーズデータベース」を公開した。

4 適時、適切で魅力的な情報発信

- ・ 「#ブラかん」「エコパートナーズデータベース」「SDGs 街（マーチ）」「池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや（企画チーム参照）」等のプレスリリース。ウェブサイトに誘導するため環境情報紙「Risa」での広告。SNS（facebook, twitter）等での発信。LINE アンケートの実施等。
- ・ 消費生活フェア☆パネル展（1/30）に出展。
- ・ ガイドブック表紙デザインコンペティションの実施（2 回）。
- ・ なごや環境大学 YouTube チャンネル共育講座版準備のため、講座を紹介する動画撮影を開始した。

SDGs 未来創造クラブ報告 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

- 名古屋市が「SDGs 未来都市」として先導的に進めていくため、なごや環境大学に「SDGs 未来創造クラブ」を設置し、2つのプロジェクトを展開することで経済・社会・環境が調和した持続可能な社会の実現に貢献するとともに新たな人づくり・人の輪づくりに活かす機会としていく。

【重点取り組み事項】

1 まちづくりプロジェクト

- ・ 8 月 19 日、26 日に錦二丁目をモデルエリアとして、SDGs 達成に向けた事業展開を検討するワークショップをオンラインで開催。その後 5 つのテーマ（① SDGs な 50 年後の錦二丁目の姿②人×多様性×活躍③環境にやさしいライフスタイル発信④快適・安全な暮らしを支える生活インフラを考える⑤スポーツチームと大学の連携）に分かれて 9 月～1 月にかけてワーキンググループで事業展開の検討を進めた。
- ・ 9 月 2 日にオンラインセミナー「企業活動と SDGs」を開催。岐阜大学 客員教授 加藤義人氏を講師に迎え、リニア開業によって変化する名古屋の未来を切り口に、企業が取り組むべきベンチマークとなる SDGs の役割を説明した。

- ・ 11 月 27 日、28 日に地域課題の解決に向けたショーケース事業として、錦二丁目の道（みち）を庭（にわ）に見立てて SDGs が描く未来の暮らしを体感できる「みちにわ SDGs マルシェ」を開催した。
- ・ 1 月 20 日には各ワーキンググループの成果発表を行う報告会を実施した。

2 人づくりプロジェクト

- ・ 子どもたちの SDGs 達成への意識を育むとともに、家族や地域へと波及させるため、企業や大学、社会教育施設等と連携して以下の「SDGs 学習プログラム」を制作し、学校等への展開を進めた。
- ・ 12 月 16 日に子どもたちが SDGs について、ゲームや動画などを通じて楽しく学べるウェブサイト「なごや SDGs 街（マーチ）」を公開。市内の企業・施設等の取組動画「SDGs チュートリアル」や子どもたちの SDGs の取組やアイデ

アを投稿する「SDGs みんなのアイデア」等を展開。

- ・ 小学 4～6 年の冬休みの日誌（冬の生活）に SDGs や取り組みに関するページを掲載。
- ・ 子どもたちが施設等を訪問し、パネル等を用いて SDGs とのつながりを学ぶ「SDGs フィールド」を実施するとともに、冬の生活と連携し、12 月 26 日～1 月 31 日に市内 21 図書館において SDGs 特設展示を実施した。
- ・ SDGs を学べるかるた及びすごろくを制作し、市内のトワイライトスクール・ルーム、学童等へ展開した。

3 広報

- ・ SDGs の趣旨及び各ゴールが示す目標と名古屋市の取組内容についてまとめた啓発冊子「SDGs ってなに？」を作成し、市内全小中学校の全教職員分（約 1 万 1 千）や SDGs フィールド等の施設への配布を行った。

ユースクラブ報告 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

●SDGs をきっかけに、原点回帰。次の 2 つの領域で、「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える協働を通じた次世代育成を図ります。

【重点取り組み事項】

1 新人の発掘「ユースが自発的に関心を持ち、探求できる手法を検討、実施します。」

- ・「若者が若者に発信する」主催事業であるユース限定共育講座体験の報告会を行った。関わりあうユースの属性や世代の広がりを目指すため、報告会では「どうすればもっとワカモノの参加が増えるのか」をテーマにディスカッションを行った。
- ・ユースが企画・運営を行う事業等として、社会見学、著名人へのインタビュー動画制作およびアイデアソンを検討。次年度実施に向けて情報収集を行った。
- ・SDGs 未来創造クラブまちづくりプロジェクトと連携し、錦二丁目地区で事業展開を検討するワークショップに参画。一環として開催

されたみちにわマルシェに出店を行った。

- ・森林や、SDGs の理解を深める間伐材による SDGs 教材づくりを計画したが、製作が困難なため断念した。
- ・愛知学院大学と連携した、池上彰氏のシンポジウム「池上彰先生と学ぶ SDGs の現在(いま) in なごや」に登壇し、次世代に向けて SDGs の現状を発信した。
- ・名古屋の森の現状やその周辺が抱える問題を知る「名古屋の森の映えスポット探し！」を実施。点在する 4 つの森をめぐりながら森の魅力を伝える 30 秒の動画を作成した。

2 インキュベーション「ユースが取り組んでいる環境活動の継続性を高める仕組み作りや支援を強化します。」

- ・次世代を担うユースの育成を強化し、活動の

継続性を高める仕組みづくりの一環として、愛知淑徳大学 CCC が実施する事業に関与し、参加する若者に対しユースクラブへの参画を働きかけた。

- ・大学生を中心に SNS 企画(# ブラかん)を実施。コロナ禍の外出自粛が続く中、プラスチック製品の需要が高まる一方、個人でもできる脱・プラスチック活動を SNS で発信した。
- ・昭和区役所と共催で、次世代を担う高校生から大学生を中心とした若者による、with コロナ時代にあった昭和区内の公園の利活用方法に関する企画発表会を実施。
- ・昭和区まちづくりプロジェクトの派生として、会場の一つとなる八事・興正寺の森との付き合い方をよく知るための学習と手入れの体験会を実施した。

森林プロジェクト報告 2020 年度の総括

【2020 年度 活動方針】

「なごや環境大学」において、森林環境譲与税の活用を通じて、市民への普及啓発や人材育成等、森林整備の促進に向けた取り組みを実施し、グリーンインフラの整備など、持続可能な社会づくりや新たな人づくり・人の輪づくりに活かす機会としていく。2 年目として、「継続」と「新規開拓」2 つの視点から事業を推進する。

【重点取り組み事項】

1 森林管理の現状把握と課題解決に向けた仕組みの検討

- ・「2019 年度森イキ！デザインプロジェクト」の取り組みを振り返るとともに、より課題解決に近づく力を育めるよう、設楽町産間伐材による木琴づくりサテライトプログラムを実施した。
- ・森に関する講座を企画・運営する企画者団体等と協働し、森林管理の体験及び森林ごとに抱える課題とその解決策について考える講座を開催した。
- ・市内に点在する森ごとに、抱える課題について考え、映像による SNS 配信する「名古屋の森の映えスポット探し！」や、都市内の公園緑地での森の整備体験を実施し、次世代を支えるユースが興味を持ち、参加しやすい事業の充実を図った。

2 なごや環境大学の資源を活かしたコーディネートと継続・発展のためのネットワーク構築

- ・岐阜県立森林文化アカデミー及び岩間造園と連携し、森林の有する機能の普及啓発や森林整備のファーストステップとして「里山とはどういう自然なのか」について、保全活動に取り組んでいる団体等を対象に、基礎知識のスキルアップ講座を開催した。
- ・市内でみどりや生物多様性保全活動に取り組んでいる団体のニーズを把握するため、なごやの森づくりパートナーシップ連絡会や自然観察指導員連絡協議会と意見交換を行った。
- ・なごや環境大学のネットワークを生かし、生物多様性を高める森づくりについて、スイスのグリーンフォレスト（森林管理官）と WEB 講演会を実施した。また、「名古屋の森の映えスポット探し！」で作成した映像をもとに、作成した学生がスイスと WEB を介して意見交換を行った。

3 モデル展開のための事業検証と普及

- ・2019 年度の設楽町での活動について、現地にて報告会を行い、関係自治体である設楽町役場や豊橋市役所と成果について共有を図った。
- ・活動の様子や成果の見える化及び発信を継続し、動画や SNS 活用など、新たな方法での発信を行った。



なごや環境大学の歩み

前史・第1期・第2期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：「脱レジ袋宣言」を発表 11月：第1回エコ事業所の認定 藤前干潟がラムサール条約に登録	2002年度	1月 名古屋市長年頭記者会見で構想発表 3月 基本構想検討委員会を発足
10月：レジ袋削減に向けた市内共通還元制度 「エコクーびょん」を開始(～平成21年3月)	2003年度	10月 基本構想を策定・公表 3月 市民講座企画づくりワークショップを開催
 プレシンポジウム	2004年度	4月 実行委員会を発足 8月 2005年度共育講座公募 11月 プレシンポジウム「市民と行政の協働を考える」を開催 12月 プレ講座「環境首都をめざしたまちづくり」を開講 2月 共育講座企画運営団体(市民団体・企業)との交流を開催 「環境ハンドブック2005」を発行 3月 開講式&記念シンポジウムを開催
8月：リユースカップ事業を開始 広小路夏まつり会場で打ち水を実施 2月：京都議定書の発効 3月：「なごやエコキッズ」213園・ 「なごやスクールISO」153校を認定 「愛・地球博」開幕	2005年度	4月 共育講座開始(2005年度82講座・476回) 7月 シンポジウム2005「環境時代と大学・地域・市民」を開催 10月 まちづくりシンポジウム「次世代につなぐ環境首都をめざして」を開催 3月 なごや環境大学平成17年度活動報告会を開催
6月：環境デーなごや2005「もういちど！大作戦」を実施 7月：愛・地球博ささしまサテライト会場ほか 市内51箇所で行った打ち水を実施(～9月) 11月：EXPOエコマネーセンターがアスナル金山に開設	2006年度	4月 共育講座開始(2006年度110講座・574回) 9月 環境デーなごや「なごや環境大学のひろば」開催開始 10月 「上流・下流のつながり」を開催 2月 「地球温暖化の真実」を開催
8月：なごや循環型社会・しみん提案会議発足 1月：中区栄において都心と郊外の CO ₂ 濃度の比較表示を開始 2月：エコマネーサテライト開設(名古屋環境学習 センター／名古屋リサイクル推進センター) 3月：「国際市長会議―都市と生物多様性― (ブラジル・クリチバ) 出席	2007年度	4月 なごや環境大学学生チーム「エコネクスなごや」発足 共育講座開始(2007年度133講座・616回) 10月 東山新池かいぼりプロジェクト(なごや環境学・番外編) 「1021新池かいぼり大作戦」を開催(21日) 11月 なごや環境大学「第2期ビジョン」を策定 2月 環境ハンドブック改訂版「なごや環境ハンドブック」発行 3月 2008愛知環境賞「中日新聞社賞」受賞 「あいちモリコロ基金」(2008年度大規模活動)助成決定
5月：第4次一般廃棄物処理基本計画を策定 7月：第1回「脱温暖化2050なごや戦略」策定 検討会開催 9月：「第16回アジア太平洋環境会議」を開催 12月：化学繊維・人工皮革・ゴムを 不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 「エコドライブマイスター認定制度」を開始 2月：「『ごみ非常事態宣言』10周年シンポジウム ～ごみ減量のこれまで、これから～」開催 3月：「水の環復活2050なごや戦略」策定	2008年度	4月 共育講座開始(2008年度138講座・567回) 5月 「しみん提案」の実現を目指す「循環型社会推進チーム」発足 9月 エコアジア2008(プレCOP10)開催記念環境シンポジウム開催 12月 エコネクスなごやが全国大学生環境活動コンテスト(エココン2008)「グランプリ・環境大臣賞」受賞 3月 「あいちモリコロ基金」(平成21年度大規模活動)助成決定
4月：レジ袋有料化全市拡大 11月：「生物多様性自治体会議2009」開催 「低炭素都市2050なごや戦略」策定 3月：「名古屋版レッドリスト2010」公表 「生物多様性なごや戦略」策定	2009年度	4月 共育講座開始(2009年度152講座・674回) 6月 「地方の元気再生事業」採択 8月 「藤原紀香『Smile Please!』」トークショー&写真展開催 9月 環境デーなごや「生物多様性パーク」開催 1月 「エコシティ・サミット～市民はいかに動いたか～」開催

なごや環境大学の歩み

第2期・第3期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：URBIO2010（都市における生物多様性とデザイン国際会議）開催 10月：「カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP-MOP5）」開催 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催 「生物多様性国際自治体会議」開催	2010年度	4月 共育講座開始（2010年度 173講座・727回） 中日新聞社共催「ビバちきゅうきょうしつ」第1回「生命を育む海」開催 5月 生物多様性連携プロジェクト発足 9月 「生物多様性屋台村 いのちの恵みを『いただきます〜す』」出演 10月 「生物多様性交流フェア」出演 2月 「生物多様性あふれるまち・なごやに100人ワークショップ〜COP10から始めよう〜」開催 3月 「南極料理人西村淳さんによる“究極のエコライフ”」開催
 交流フェアブース 4月：プラスチック製品を不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 9月：市役所などに電気自動車を導入 「なごや生物多様性センター」を設立 「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合が2014年に愛知県名古屋市で開催されることが決定	2011年度	4月 共育講座開始（2011年度 161講座・663回） 5月 地球環境学第1回公開講座「映画『THE AGE OF STUPID』上映会＋トークライブ」開催 9月 環境デーなごや「つくる・育てる・楽しむプロジェクト」として衣食住をテーマとした3ブースを出演 10月 名古屋市教育委員会共催「環境未来探検隊」体験活動開催 「COP10 1周年記念シンポジウム～都市インフラとしての自然を考える～」開催 11月 東日本大震災を受け、防災関連講座「なごや環境学2011～リスク管理とまちづくり～」を開催 なごや環境大学「第3期ビジョン」を策定 12月 「Winter Concert 2011～宇宙からみた地球環境、森林の大切さを感じる音楽会～」開催 3月 「新しい公共支援事業基金」（2012年度活動）助成決定
5月：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 7月：「名古屋市集団回収における古紙の持ち取り防止に関する条例」施行 10月：バイオディーゼル燃料化モデル事業を全市で実施	2012年度	4月 特定の環境テーマで、調査・研究・社会実験等を行う「共育ゼミナール」を開始（4団体） 共育講座・ゼミナール開始（2012年度 164講座・601回） 9月 環境デーなごや2012 中央行事で名古屋市と協力し、「持続発展共育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた特別企画を開催
4月：リサイクル推進センター閉館に伴い、環境学習センターにおいて一部機能継承 1月：ESD イヤーキックオフイベント開催 2月：小型家電リサイクル開始	2013年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2013年度 149講座・568回） 5月 子どもたちが主役のESDワークショップ「命が大切にされる未来を創るんだ」開催（5～11月・全5回） 9月 「環境デーなごや2013 中央行事」に参画 12月 「Winter Concert2013～愛と音楽は未来への懸け橋を創る～」開催
6月：「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」開催 11月：「ESD シンポジウム」開催 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催 2月：「低炭素モデル地区事業」2地区を認定	2014年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2014年度 165講座・591回） 5月 いのちつながるESDワークショップ2014開催（5～9月・全5回） 6月 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」に参画 9月 「環境デーなごや2014 中央行事」に参画 11月 「ESD ユネスコ世界会議併催イベント」に参画 3月 10周年事業 オープンキャンパス！開催 「リソースマッチングプレゼン大会」開催
 10周年記念シンポジウム 5月：第二処分場の開設 12月：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」を採択 3月：「なごや環境学習プラン」策定 第5次一般廃棄物処理基本計画策定	2015年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2015年度 159講座・574回） 8月 名古屋気温測定調査2015実施（市内165地点） 9月 「環境デーなごや2015 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10周年記念コンサート with ブランタン管弦楽団「未来を創るチカラ～つながるエコひろがるハッピー～」開催 10周年記念シンポジウム「未来を創るチカラ～人とまち～」開催 「協働型環境学習のしくみづくりに関する自治体ミーティング」開催



なごや環境大学の歩み

第3期・第4期

名古屋の環境動向

- 10月：スプレー缶類の排出方法を穴あけ不要に変更
災害廃棄物処理計画策定
11月：平成28年度水銀添加廃製品回収促進業務
(環境省モデル事業)を実施



エコプロ2016

- 10月：蛍光管・水銀体温計等の拠点回収を開始
3月：「低炭素都市なごや戦略第2次実行計画」
策定



オープンキャンパス

- 5月：名古屋市環境学習センター「エコバルなごや」
リニューアルオープン
2月：ごみ非常事態宣言から20年を記念した式典
を開催



なごやのみらい Open Together !

- 7月：名古屋市が「SDGs未来都市」に選定
1月：「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」
せいかりレー キックオフイベント」～あい
ち・なごや生物多様性 EXPO～開催
3月：南陽工場を休止

- 6月：富田工場、北名古屋市で工場完成
9月：ウェブサイト上で、「おうちで環境デーなご
や2020」実施



池上先生と学ぶ SDGs の現在

なごや環境大学の歩み

2016 年度

- 4月 共育講座・ゼミナール開始 (2016年度 151 講座・564 回)
6月 「みんなで歩く ワクワクなごや」開催 (6～12月・全5回)
9月 「環境デーなごや2016 中央行事」に参画し、学生企画
「WATSUKA MONO Village」を展開
11月 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づ
くり担い手づくり」開催
12月 「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展～」に参画
3月 「春のオープンカフェ at テレビ塔」開催

2017 年度

- 4月 共育講座・ゼミナール開始 (2017年度 147 講座・455 回)
5月 第4期ビジョン策定
9月 「環境デーなごや2017 中央行事」に参画し、学生企画
「WATSUKA MONO Village」を展開
11月 名古屋外国語大学との連携に関する協定書締結
「ウィンターコンサート2017～音楽でつながろう！みんな
地球市民～」開催
1月 「みんなで防災・減災を考え行動しよう!!～持続可能な社会
づくりのために～」開催
2月 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催
3月 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催

2018 年度

- 4月 共育講座・ゼミナール開始 (2018年度 177 講座・483 回)
5月 愛知学院大学との連携協定締結
9月 「環境デーなごや2018 中央行事」に参画し、学生企画
「WATSUKA MONO Village」を展開
10月 「なごやのジレンマ！名古屋市北エリアを例に考える持続可
能なまち・人・仕事？いや生活！」開催
11月 ユース主催講座「自然栽培を知ろう！～おいしいやさいはど
んな味？～」開催
1月 豊かさを考える SDGs 映画会&トーク開催
2月 ごみ非常事態宣言20周年記念イベント「なごやのみらい
Open Together！」開催

2019 年度

- 4月 共育講座・ゼミナール開始 (2019年度 147 講座・525 回)
7月 「お買い物から SDGs を知る！『環境白書から実践へ』」開催
8月 森イキ！デザインプロジェクト開始
9月 「環境デーなごや2019 中央行事」に参画し、学生企画
「WATSUKA MONO Village」を展開
11月 「なごやの環境平成史」開催 (11月～2月・全4回)
1月 SDGs に向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミー
ティング

2020 年度

- 4月 共育講座・ゼミナール開始 (2020年度 134 講座・497 回)
SDGs 未来創造クラブ まちづくり・人づくりプロジェクト
6月 開始
オンラインセミナー 生物多様性とサブカルチャーの世界
7月 環境白書から実践へ2020～SDGs17の目標その先へ！～
SDGs オンラインセミナー2030年の先をみつめる人々
(10～2月・全10回)
10月 森イキ！デザインプロジェクト2019年度成果発表会
in 設楽町
1月 SDGs に向けての協働型のしくみづくり自治体ミーティング
2020
11月 「みちにわ SDGs マルシェ」開催
12月 ウェブサイト「なごや SDGs 街 (マーチ)」オープン
3月 池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや



なごや環境大学運営協力者一覧

市民・市民団体

愛知県昆虫食を考える会
 特定非営利活動法人 えこども
 一般社団法人 SDGs コミュニティ
 認定特定非営利活動法人恵那山みどりの会
 大曽根まちづくり会議
 かすがい里山自然楽校
 かすがい東部丘陵自然観察会
 川ナビ歩こう会
 環境カウンセラー 岡本明子
 環境ボランティアサークル 亀の子隊
 特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも
 劇団森のパレット
 国際生物多様性の10年 (UNDB)
 市民ネットワーク
 災害ボランティアちくさネットワーク
 CE 技術の会
 森林インストラクター会 “愛”
 地球エコ防衛隊
 地球ハグ倶楽部
 手編み生涯学習ぐるーぶ&つながれっと・
 イーブル・リサイクル3R グループ
 特定非営利活動法人 東海自然学園
 東谷山二ホンミツバチプロジェクト実行委員会
 なごや外来種を考える会
 なごやの生き物調査の会
 なごや環境塾 どんぐりころころグループ
 名古屋工業大学 こきそ技術士会
 名古屋大学防災サークル 轍一わだちー
 なごやネイチャーゲームの会
 名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会
 錦二丁目まちづくり協議会
 NPO 法人日進野菜塾
 公益社団法人日本技術士会中部本部・
 中部倫理委員会
 公益社団法人日本山岳会東海支部・
 猿投の森づくりの会
 日本野鳥の会愛知県支部
 乳幼児自然知育あそび ecocorokids
 ノートルモンド名古屋
 ビオトープ・ネットワーク中部
 NPO 法人藤前干潟を守る会
 特定非営利活動法人
 ヘルピングハンズアンドハーツジャパン
 NPO 法人
 「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」
 NPO みのむしックス
 特定非営利活動法人 MERRY PROJECT
 モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)
 森のムッレあいち
 守山リス研究会
 やまがたフットパス実行委員会
 養生キッチンふうど
 よりあい工房ばんどり
 レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード
 特定非営利活動法人わっぱの会

企業・事業者

一般社団法人愛知県建設業協会
 愛知県古紙協同組合
 愛知県再生資源団体連合会
 アクティオ株式会社 名古屋営業所
 岩間造園株式会社
 株式会社 エステム
 花王グループカスタマーマーケティング
 株式会社
 株式会社 加藤建設 自然環境課
 加山興業株式会社
 岐阜県立森林文化アカデミー
 株式会社熊谷組
 清水建設株式会社
 株式会社 大翻
 株式会社地域環境計画名古屋支社
 株式会社中日新聞社
 中部電力株式会社
 中部リサイクル株式会社
 東邦ガス株式会社
 戸田川緑地管理センター
 戸田建設株式会社名古屋支店
 仲建設株式会社
 中日本高速道路株式会社 名古屋支社
 一般社団法人 名古屋建設業協会
 錦二丁目エリアマネジメント株式会社
 prana(プラナ)
 みどりの風グループ 共同事業体代表者 (公財)
 名古屋市みどりの協会・
 名古屋市みどりが丘公園
 株式会社山田組

大学・行政・その他

愛知学院大学名城公園キャンパス
 地域連携センター
 愛知淑徳大学コミュニティ・
 コラボレーションセンター
 愛知教育大学
 環境省中部地方環境事務所
 イーブルなごや
 千種生涯学習センター
 東生涯学習センター
 北生涯学習センター
 西生涯学習センター
 中村生涯学習センター
 中生涯学習センター
 昭和生涯学習センター
 瑞穂生涯学習センター
 熱田生涯学習センター
 中川生涯学習センター
 港生涯学習センター
 南生涯学習センター
 守山生涯学習センター
 緑生涯学習センター
 名東生涯学習センター
 天白生涯学習センター
 名古屋市環境科学調査センター
 名古屋市環境学習センター (エコバルなごや)
 名古屋市環境局減量推進室
 名古屋市環境局大気環境対策課
 名古屋市環境局地域環境対策課水質地盤係
 名古屋市愛岐処分場
 名古屋市上下水道局 調査課
 水の歴史資料館
 名古屋市昭和区役所
 名古屋市立大学大学院経済学研究科
 (次世代エネルギーワークショップ推進委員会)

「なごや環境大学」実行委員会

(敬称略・2021年1月1日現在)

名誉委員長	河村たかし	名古屋市長
委員長	伊東恵美子	名古屋市副市長
学長	涌井 史郎	東京都市大学 特別教授

実行委員	伊藤 和子	名古屋市地域女性団体連絡協議会 会長
	中村 剛	名古屋市保健環境委員会 会長
	相原 邑子	名古屋市区政協力委員議長協議会 議長
	野中 賢輔	なごや外来種を考える会 会長
	山口ゆずみ	特定非営利活動法人コンソーシアム有松 事務局長
	杉野 実	M ¹ _Project デザインプロデューサー
	平石 晶代	株式会社ナックプランニング
	小坂 信之	環境パートナーシップ・CLUB 総合事務局長
	坪井 明治	名古屋市商店街振興組合連合会 理事長
	鵜飼 宏成	名古屋市立大学大学院 経済学研究科 教授
	大鹿 聖公	愛知教育大学教育学部 教授
	九里 徳泰	相模女子大学学芸学部 英語文化コミュニケーション学科 教授
	前田 洋枝	南山大学総合政策学部 准教授
	横山 陽二	東海学園大学経営学部 客員教授
	河田 誠一	名古屋市総務局 企画調整監
	藤井 昌也	名古屋市教育委員会 教育次長
	須網 正人	名古屋市環境局 環境都市推進監
	鳥羽 義人	名古屋市環境局 環境企画部長／「なごや環境大学」実行委員会 事務局長

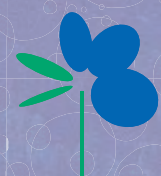
監事	加藤 明司	加藤明司会計事務所 所長
	児玉 透	名古屋市会計室 次長

参 与	佐藤 綱洋	名古屋商工会議所 産業振興部長
	山口 剛史	一般社団法人 中部経済連合会 防災・環境部長
	香坂 玲	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
	里方 弘祐	農林水産省東海農政局 生産部 生産技術環境課長
	片桐 泰明	経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課長
	間宮 敏博	国土交通省中部地方整備局 企画部 環境調整官
	小笠原洋和	国土交通省中部運輸局 交通政策部 計画調整官
	萩ノ脇裕司	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長
	谷口 亮	愛知県環境局環境政策部 環境活動推進課長

チー ム 員	浦野 愛	認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 常務理事
	江坂恵里子	ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 プログラム・ディレクター
	上田 聡司	プラスディーアンドシー合同会社 代表職務執行者社長
	加藤 美奈	株式会社Comodo LABO 代表取締役
	小林 幸江	ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部
	中森 浩二	公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 会員
	井垣 理史	名古屋学芸大学 メディア造形学部デザイン学科 准教授
	鈴木慎太郎	愛知学院大学法学部 教授
	曾我 幸代	名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 准教授

ユ ー ス	岸 晃大	名城大学 4年生
	深津あづ美	社会人ユースメンバー
	藤岡 祐太	名古屋大学 3年生
	三輪久美子	名城大学 3年生
	山口 奈月	愛知淑徳大学 3年生

アドバイザーボード	岸田 眞代	岸田パートナーシップ研究所 代表
	長谷川明子	ビオトープ・ネットワーク中部 会長
	松本イズミ	NPOフィトラボ 代表
	新海 洋子	一般社団法人SDGsコミュニティ 代表理事
	辻 喜礦	公益社団法人日本技術士会中部本部 元本部長
	山田 厚志	一般社団法人愛知県建設業協会 理事
	楠美 順理	中京大学国際教養学部 教授
	竹内 恒夫	名古屋大学大学院環境学研究科 持続的共発展教育研究センター 特任教授
	千頭 聡	日本福祉大学国際福祉開発学部 教授



発行/「なごや環境大学」実行委員会

発行年月/2021年5月

問い合わせ先/「なごや環境大学」実行委員会 事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライブプラザ13階
(名古屋環境学習センター エコパルなごや内)
TEL・FAX 052-223-1223
Eメール/jimu@n-kd.jp
ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C016129